花嫁の父（1950）

FATHER OF THE BRIDE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ファミリー　コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 93分
初公開日 1952/12/25
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

Ｐ・ボグダノヴィッチの「ラスト・ショー」で、舞台となる町の映画館で「赤い河」の前に、つまり、閉館の前の週にかかっていた映画。ジェフ・ブリッジスと共にこの美しい芳紀１８歳のリズの花嫁姿を見て、ＧＦのシビル・シェパードが嘆息をつくのだった。一人娘を嫁に出す父は悲喜こもごもの心境に浸って、結婚式に向け、ひたすら事務的にテキパキ準備を進める妻（Ｊ・ベネット好演）にぐうたら呼ばわれもするが、それが男親ってもんじゃないでしょうか……と渋さも絶品のトレイシーが語りかける。リズのお相手を務める、どうってことない二枚目は後に監督になるＤ・テイラー。当時の野郎どもはさぞやっかんだことだろう。アメリカ映画が黄金期の最後の光芒を放っていた頃を象徴する作品の一つとして、先の引用はなされたのだが、ここに描かれる中流やや上の価値観もこの後、馴染みの薄いものとなってしまった（それが監督ミネリのテイストでもあった）。かなりの成功を納め、続編「可愛い配当」も作られた。９１年に「花嫁のパパ」としてリメイク。

【クレジット】

監督	ヴィンセント・ミネリ	Vincente Minnelli
製作	パンドロ・Ｓ・バーマン	Pandro S. Berman
原作	エドワード・ストリーター	Edward Streeter
脚本	フランセス・グッドリッチ	Frances Goodrich
	アルバート・ハケット	Albert Hackett
撮影	ジョン・アルトン	John Alton
音楽	アドルフ・ドイッチ	Adolph Deutsch
出演	スペンサー・トレイシー	Spencer Tracy
	エリザベス・テイラー	Elizabeth Taylor
	ジョーン・ベネット	Joan Bennett
	ドン・テイラー	Don Taylor
	ビリー・バーク	Billie Burke
	レオ・Ｇ・キャロル	Leo G. Carroll
	ラスティ・タンブリン	Rusty Tamblyn

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.